

第31回秋田市景観形成専門部会 議事録

- 1 日 時 令和2年2月17日(月) 午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 秋田市役所 5階 第3・第4委員会室
- 3 次 第
 - 1 開会
 - 2 あいさつ(秋田市景観形成専門部会長)
 - 3 会議の公開・非公開の審議
 - 4 議事録署名委員の選出
 - 5 議事(議案第1号)「第11回市民に親しまれる道路愛称」の選考について
 - (1) 募集結果概要説明
 - (2) 選考方法について
 - (3) 対象区間について
 - (4) 第二次選考
 - (5) 最終選考、表彰者の決定
 - 6 その他
 - 7 閉会
- 4 出席委員 鎌田 光明 委員
石山 友美 委員
木村 義和 委員
高井 志津子 委員
林 徳彦 委員
吉沢 仁 委員
半田 和彦 委員
葛西 誠 委員 以上8名
- 5 欠席委員 樋渡 博子 委員
瓜田 智哉 委員 以上2名
- 6 事務局 藤田都市計画課長
鷺谷副参事
中村主席主査
下館技師

司会 本日の会議は、2名の委員が欠席しているが、半数以上の委員が出席しているため、専門部会設置規定第3条第2項の規定により、本会議は成立していることを報告する。

議事録署名委員の選出

部会長 議事録署名委員は、石山委員と林委員にお願いします。

石山・林委員 了承

議事

(1) 募集結果概要説明 (2) 選考方法について

事務局 (1)「募集結果概要説明」および(2)選考方法の案について説明

部会長 事務局からの説明に対し、意見・提案等はないか。

全委員 なし

部会長 それでは、選考方法は、事務局案で行うこととし、第一次選考で得点のあった25件を第二次選考の対象とする。

(3) 対象区間について

事務局 対象区間についての説明は、事業主体である国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所長である吉沢委員より説明いただく。

吉沢委員 (3)対象区間について説明

部会長 ただ今の説明に対し、意見・質問等はないか。
私から質問するが、国道7号下浜バイパスのほかに道路計画はあるのか。

吉沢委員 資料4の1ページ参照

国道7号については、直轄国道といい、国が管理するものである。これに類似するものとしては、国道7号と平行する日本海沿岸東北自動車道という高規格幹線道路がある。この道路の北側については、河辺ジャンクションで秋田道と合流しており、そこからにかほ市象潟まで開通しているが、その先の象潟から小砂川、山形の遊佐町までの区間について事業中である。先週、これを令和7年、8年に開通する見込みと発表したところである。

部会長 もう1点お聞きする。今回選定された中では、「サンセット」「かぜ」「海」といった関連の愛称が多かった。先ほどの道路区間の説明でも、そういった道路だという想像はついたが、実際に現地に行っていないので、細かいところがよくわからない。例えば、海の近い部分では、風や塩の対策として防風の柵等の設置が想像されるが、そういった対策はあるのか。

吉沢委員 **資料4の5ページ参照**
位置的には眺望も良く、高台のため海が見え、山林もあり、自然豊かな場所である。
起点側の羽川大橋付近の部分は、高さ2.5m程度の柵を設け、雪や風を避けるための板を設ける予定としている。通常は、鉄の銀色の板を設けるが、今回は眺めの良い場所のため、透き通る新しい材料を付ける。かといって、本来あるべき機能を減じてはいけないため、やや色がついているものではあるが、透過型の柵を設ける。この場所のほか、主に終点側の海に張り出した場所に設置するが、景観が見えるよう、同様の透過型の柵となる。それ以外の部分は山の切り土部などであるため、特段設けてはいない。

部会長 他にはないか。

委員G 歩道が設けられると資料にあったが、歩道は海側にあるのか。

吉沢委員 下浜道路は本来、片側2車線合計4車線として計画している。まずは通そうということで暫定供用断面として2車線となっているが、海側に片寄せで3.5mの自歩道を6.2km全線で設けることとなる。

委員G 歩行者と自転車が通れるということは、地元の方が使われるということで地元の方にも愛される道路になっていると思う。

部会長 他にはないか。

委員E 第二次選考の対象となっているものは、すべて類似愛称はないということでしょうか。

事務局 類似愛称がないことを調査済みである。

(4) 第二次選考

～第二次選考投票用紙に愛称番号、愛称名を記入後、事務局で集計～

事務局 第二次選考の投票の結果、
「下浜サンセットロード」得点20点、選考した委員数6名、
「下浜夕陽ロード」得点12点、選考した委員数4名、
「ななはまロード」得点10点、選考した委員数2名、
「サンセット下浜バイパス」得点6点、選考した委員数2名、
「しおかぜ夕日ライン」得点6点、選考した委員数2名となった。

部会長 この結果を踏まえ、上位5件を最終選考の対象としたいが、よろしいか。

全委員 異議無し

部会長 それでは、上位5件を最終選考の対象とする。

(5) 最終選考・表彰者の決定

～最終選考投票用紙に愛称番号、愛称名、選考理由を記入後、事務局で集計～

事務局 最終選考の投票の結果、
「下浜サンセットロード」得点22点、選考した委員数6名、
「下浜夕陽ロード」得点15点、選考した委員数5名、
「しおかぜ夕日ライン」得点14点、選考した委員数4名
「ななはまロード」得点12点、選考した委員数4名、
「サンセット下浜バイパス」得点7点、選考した委員数3名となった。

部会長 点数としては、下浜サンセットロードが最も高いが、それ以外でも、しおかぜ夕日ラインとななはまロードを1位に選んだ委員が2名、下浜夕陽ロード、サンセット下浜バイパスを1位に選んだ委員が1名おり、選考した理由も踏まえて議論をしていきたい。

例えば、1位の下浜サンセットロードと2位の下浜夕陽ロードはある種同じ意味ではあるが、サンセットと言うか夕陽と言うかによって印象が違う。そこにどのような意義をこめて片仮名にしたのか、漢字にしたのかも問われる。さらにサンセット下浜バイパスもある種同じ意味である。道路愛称として、ロードが良いのか、バイパスが良いのかも議論の対象となる。

このあたりをどのように考えているか。

委員Aはどうか。

委員A 私は下浜サンセットロードを2位に選んだ。サンセットロードは、日本全国色々なところで、夕日の絶景が見えるところがあるため、特別個性的というわけではないが、一方で、非常に率直に付けられていて、応募者数も多いということで、市民の皆様の同意が得られやすいのではないかと考えている。

サンセットも夕陽も同じ意味だが、サンセットのほうが票数も多かったということで、サンセットを優先して考えていくべきではないかと考えている。

ただ、しおかぜ夕日ラインは風という別の視点があるということと、ななはまロードはまったく別の観点で国道7号線の7を残したいという視点はユニークだと思う。これらをどう取り扱うかは、他の委員の方の意見を聞きたい。

バイパスよりはロードのほうが応募者数も票数も多かったことから、ロードのほうを優先したい。

部会長

他にはないか。

委員G

私の考える観点としては、場所がどこかわかることや地元の方に愛着をもってもらえることから、地域名称が入ることが望ましいと考えている。その観点からすると、下浜というキーワードが入っているものが優先度が高い。

二つ目の観点として、サンセット、夕陽が見えることが地域の財産であろうと想像されるため、これらのワードは入った方がよいと考える。サンセットと夕陽のどちらが良いかは非常に難しいが、サンセットのほうが得票数が高いことから、サンセットのほうが望ましいと思う。

部会長

他にはないか。

私から、一委員として意見を申し上げる。私もサンセットが地域の財産となっていると思うが、全国にサンセットがあると思う。

その点、しおかぜもプラスされているしおかぜ夕日ラインは、サンセットという視覚的情報と、しおかぜという嗅覚や触覚の情報も付加される点と、サンセットには、夕方という時間的な制約があるが、この道路を使うのは夕方だけではないため、しおかぜはいつでも感じられるという点で良いと思う。

下浜という地域名称があったほうが良いとは思いますが、どちらも含んでいる名称がなく、選定に迷ったが、しおかぜと夕日のふたつがあるという点でしおかぜ夕日ラインに投票した。

委員Dはどうか。

委員D

多くの方が支持しているということが判断基準になると思う。

地域名称が入っているほうが良いという意見もあるが、道路区間の中に他の地域が含まれるのであれば、その地域への配慮もあったほうが良いと思う。

地域名称がなくとも、その地域の特徴をわかりやすく表している名称があれば良いのではないか。

部会長

これまでにつけられた名称を見ると、必ずしも地域名称が含まれているわけではなく、その地域をよく表している名称がつけられている。地域名称が含まれることは大切だが、観点としては、その地域の特徴をよく表しているものがふさわしいのではないかと考えている。

委員Bはどうか。

委員B

私は、サンセット下浜バイパスを1位にした。6.2キロのバイパスということで、道路を作る方にしても、他の道路の渋滞を緩和するという意味で作ったということもあり、バイパスにこだわった。

下浜という部分は、秋田県では海水浴場といえば下浜ということで極めて著名なところである。それが夕日と絡むということでサンセット下浜バイパスを1番とした。

部会長

委員Cはどうか。

委員C

私は、短い道路なので、あくまでも下浜地区の方々に愛される名称としたいと考え、下浜サンセットロードを1位、下浜夕陽ロードを2位に選んだ。どちらも中身は変わらないが、下浜サンセットロードのほうが、話をするときの流れがよいと感じたため、この順とした。短い区間のため、地元密着型の名称のほうが親しみやすいと思う。

しおかせ夕日ラインを推薦する理由も理解できるが、ラインは、もう少し長い八幡平アスピーテラインや鳥海ブルーラインといったイメージがあるため、今回の道路のイメージとは異なる。また、バイパスという名称については、確かにこの道路は渋滞緩和のためのものではあるが、バイパス＝迂回道路というイメージがあり、市民にはなじまないのではと思った。

部会長

ロード、ライン、バイパスは明確な定義はないと思うが、それぞれ感覚が異なり、この距離の道路ではロードが適しているのかもしれない。そのあたりの扱い方について吉沢委員にお尋ねする。

吉沢委員

ルールの話をする、ロードもバイパスもラインも愛称についての制約は基本的にない。運用上の話をする、ラインは、直轄国道や高速道路といった道路法上の道路、道路管理者が直接管理するところには使わず、有料道路や道路法上の道路でない道路、公社や第三セクター等が管理する道路に使われ、それ以外の道路の愛称ではロードやバイパスが使われているのが実状である。しかし、今回は特段の制約はないとご理解いただきたい。

部会長

委員Fはどうか

委員F

私は秋田県の歴史を専門としているが、最近のマスコミは、片仮名が多すぎて、括弧書きで意味を書かないとわからない用語も多くなっている。そのような現状からすると、なるべく漢字を多く使った方が良いかと思う。ロードというのもあまり好ましくはないが、1番2番ともにロードとなっていたため、やむを得ず選んだところもある。結局は、いろんな看板に漢字で書かれるか片仮名で書か

れるかの問題である。もちろん国際化はしてくると思うが、なるべく片仮名は使わない方が秋田のためにはよいのではないかと思う。

部会長 これまでの意見をまとめると、下浜という地名をつけるかどうか。サンセットと夕陽はどちらが道路愛称として発表したときに受け入れられやすいのか。しおかぜというような他の感覚も含めたものはどうかというところもご意見をいただいた。
最終的には、挙手による多数決で決めたいと思うがよいか。

全委員 異議無し

～挙手による投票～

「下浜サンセットロード」6名、
「下浜夕陽ロード」1名、
「ななはまロード」1名

部会長 選考の結果「下浜サンセットロード」を「第11回市民に親しまれる道路愛称」として選定する。この愛称の応募者は5名いるが、その全員を表彰対象とすることとしてよろしいか。

全委員 異議無し

部会長 それでは、選考の結果「下浜サンセットロード」を「第11回市民に親しまれる道路愛称」として選定し、その愛称の応募者全員を表彰対象とする。
本日決定した内容を審議会長に報告し、審議会長から市長に答申していただくこととする。また、選定理由については、最終選考の投票用紙をもとに事務局が案を作成することとしてよいか。

事務局 了解

部会長 議事については以上である。

4 その他

部会長 そのほか、委員から意見、質問等はないか。

委員C 当該道路周辺で大きな風力発電機ができる可能性はあるか。大きな風力発電機は圧迫感を感じる。

事務局 風力発電機について、秋田沖では設置予定があることを伺っている。主要な道

路沿線においては、今のところ設置予定は伺っていない。

部会長

そのほか、委員から意見、質問等はないか

全委員

なし

部会長

事務局から報告があるので、説明をお願いします。

事務局

事務局から報告

(景観重要建造物等保存事業費補助制度の令和元年度実績報告)

部会長

事務局からの報告に対し、意見・質問等はないか。

全委員

なし

司会

これをもって本日の景観形成専門部会を終了する。